

平成30年度地方創生に向けてがんばる地域応援事業 採択一覧(申請書より)

都道府県	市(区)町村名	事業名	実施主体名	事業の種類	事業の趣旨又は目的	事業概要
秋田県	由利本荘市	地域を支える人材育成事業	由利本荘市	ア 人材育成 伴走型支援 事業	地域づくりに必要な知識を学ぶ研修会や先進地視察等を通じて地域を支える人材を育成することにより、地域課題の解決に向けた新たな事業や取組の創出につなげることを目的とする。	○「由利本荘市地域を支える人材育成塾」を運営するためのコアメンバー10名程度の育成 地域活性化センター土日集中セミナーの参加、ファシリテーション研修会の開催、先進地視察などを実施する。 ○地域づくり人材育成アクションプランの策定 人材の効果的な育成を図るためのアクションプラン(3か年)を策定する。
千葉県	いすみ市	(仮称)いすみ市人材育成事業	いすみ市	ア 人材育成 伴走型支援 事業	各種人材育成セミナーへの職員の派遣や、地域活性化の取組に関する知見やノウハウを有する外部有識者等を招へいし、指導・助言を受けることで、地域づくりの中核人材を育成することを旨とする。	・全国地域リーダー養成塾(地域活性化センター事業)への研修生の派遣 ・(仮称)出前リーダー塾により、地域活性化の取組に関する知見やノウハウを有する外部有識者等を招へいし、職員等向けの人材育成講座の実施。
静岡県	三島市	三島の未来を担う人づくり事業	三島市	ア 人材育成 伴走型支援 事業	行政と民間企業の核となる人材を育成し、その人材が集うことによる様々なイノベーションにより、さらなる発展、起爆剤として、地域内外のヒト・モノ・コトをつなぎ、新たな価値を創造する触媒機能を持たせる人材育成を図る方策を検討するとともに、ビジョン形成の一角を担っていく。	○1年目:人材の発掘と養成、地域課題の共有、まちづくり提案 公募を行う中で、地域のリーダーとなりうる人材を発掘し、育成講座を開催。東京に近い立地を生かしトップレベルの研修等にも参加。交流を図り官民の境界なく三島をリードするための組織化を目指し、まちづくりに関する提案までを行う。 ○2年目:事業の実践と人材育成の拡大、まちづくりへのコミット 1年目の提案をさらにブラッシュアップし、取り組みを開始。加えて新たな人材育成を図るため、基幹研修を開催。また、更なる研鑽の場として1年目の受講生対象の研修会等を継続する。 ○3年目:協働・共創のまちづくへ、好循環の基盤づくり 2年目同様に提案をブラッシュアップかつ事業化を進めるとともに、研修の運営側に関わりまちづくり関係者を増やし、さらに拡大していく。
静岡県	牧之原市	まきのはら地域づくり人材育成事業	牧之原市	ア 人材育成 伴走型支援 事業	人口減少や高齢化が著しく進む中、地域の活性化につながる地域づくり事業を市民との協働により立案・実施する事や、縦割りでない風通しのいい行政組織づくりなどを推進するため、自立、自律した人材の育成を図る。	・専門講師による研修会や地域づくりセミナーの開催 ・各種人材育成研修への参加 ・地域づくり先進地の視察研修 ・対話による協働のまちづくりワークショップの開催、政策提言 ・市民主体の提言内容の具体的な実践
石川県	羽咋市	「がんばる羽咋創生総合戦略」の飛躍に向けた地域経済分析と持続可能なまちづくり推進事業	羽咋市	イ 地域経済 循環分析実 施支援事業	地域経済循環(生産、分配、支出)の見える化を行うことにより、施策の改善・見直しと新たな施策立案に向けたEBPM機能の強化を図る。	○ローカルデータを含めた地域経済循環分析と地域経済循環分析を活用した施策の改善、見直し、施策の展開のための報告書作成 ○各課横断ワーキングチームの設置、地域づくりのための先進地視察、全庁学習会の開催 ○各種データを活用し、大学や専門人材、各関係機関と連携した地域づくり・まちづくりのための共同研究の実施
岐阜県	羽島市	羽島市地域経済循環分析に基づく地方創生推進事業	羽島市	イ 地域経済 循環分析実 施支援事業	市では総合戦略の基本方針「しごとをつくる」に基づき、地域産業の振興、企業誘致に取り組んでいる。総合戦略の取組を一層加速化させるため、地域経済循環分析を行い、その結果を踏まえ、関係機関等と意見交換を行いながら、地域産業の支援策や更なる企業誘致のあり方について検討を進めることで、地域内企業の競争力を強化し地域産業の振興を図るとともに、市への企業誘致を推進し新たな雇用の場の創出・確保を促進することを目的とする。	○以下の点について、専門機関へ情報収集、分析調査を委託 ・市内産業構造の可視化・多面的分析 ・市の中核を担っている企業及び成長が見込める分野・企業を抽出 ・市内産業に経済波及効果と及ぼす関連産業、企業を抽出 ・進出意向等がある企業を抽出 ・抽出企業への意向調査 ・調査分析結果及び今後の産業振興策の取りまとめ ○行政、関係機関等の意見交換会の実施
京都府	亀岡市	地域経済循環分析に関する調査	亀岡商工会議所	イ 地域経済 循環分析実 施支援事業	地域経済循環構造分析に関する調査を行い、その調査結果に基づいて、市内企業の経営戦略や今後の亀岡市の施策に反映させる。	○以下の点について、専門機関へ分析調査を委託 ・生産・販売の分析(生産額、販売額、構成比等) ・分配の分析(就業者数、雇用手所得等) ・支出の分析(買い物動向、設備投資等) ○収集・分析・整理した情報の関係機関との共有化
北海道	江別市	都市の農村交流事業	江別市「まち」と「むら」の交流推進協議会	ウ 一般事業	農業を介して、消費者と生産者の交流を積極的に推進し、消費者が農村の自然や文化に触れあうためのイベントやパスタ等を実施する。 地場産農畜産物の魅力を伝えることにより、地産地消の推進、消費拡大、生産者の所得増を図る。	○直売所スタンプラリーの実施 ○加工品フェアの実施 ○市内の直売所・加工品等のPR冊子を作成 ○女性農業者育成研修の実施 ○野菜栽培講習会の実施 ○農業バスツアーの実施
北海道	旭川市	地域住民が自ら考え実行するコミュニティ維持・活性化事業	旭川市中心市街地活性化協議会	ウ 一般事業	中心市街地内の住民自らが地域活性化のための事業提案及び実施を行い、多様な主体が連携しながら事業を実施することで、旭川市内のみならず、道北地域全体のコミュニティ維持及び活性化を図る。	地域住民が自ら考え事業化しようとしている、以下の事業等を相互に連携を図りながら実施する。 また、活動を広く住民に周知することで、住民が主体となった地方創生への取組を誘発し、地域活性化を図る。 ○空き店舗の活用 ○店舗間の相互連携の取り組み ○コミュニティ資源を活かした、交流空間の創出
北海道	比布町	子育て世代応援事業	比布町	ウ 一般事業	子育ての悩み等を解消するための講演会を開催し、子育て世代のニーズに沿った情報提供を行う。 また、地域の高齢者等を講師にすることで多世代間交流を図り、地域全体で子育て支援に取り組む魅力的な環境づくりを行う。	○年5回程度のセミナー及び講演会を開催 ・子育て、食育、母親の活躍と社会参加、地域との連携(高齢者との関わり)をテーマとする ・一部セミナー及び講演会では地域住民を講師とし、講師や参加者相互の関係性の構築を図る
北海道	稚内市	医療と健康のまちづくり運動推進事業	稚内市	ウ 一般事業	限られた医療資源を活用すべく、医療機関・行政・市民が一体となって、地域医療とまちづくりを一体的に進め、いつまでも安心して住み慣れた地域で暮らし続けられるまちを目指す。	○町内会や企業、団体への出前講座の実施による、医療と健康のまちづくり応援団のPR ○地域の繋がりがりや医療問題をテーマとした、講演会の開催
宮城県	登米市	孤立・孤独死をさない地域の見守り事業	豊里コミュニティ推進協議会	ウ 一般事業	集落の維持・活性化のために行う地域づくり事業により交流人口は増えているが、関心のない住民をいかに巻き込むかが課題である。また、孤立・孤独死が社会問題となっているため、多様な住民が支援の必要な人を見守り、支え合う社会を構築するため、啓発活動を進める必要がある。	○孤立・孤独死防止PR動画の制作 ○独居・高齢世帯、要支援者の見守り事業

平成30年度地方創生に向けてがんばる地域応援事業 採択一覧(申請書より)

都道府県	市(区)町村名	事業名	実施主体名	事業の種類	事業の趣旨又は目的	事業概要
宮城県	丸森町	地域を元気で笑顔にする事業	丸森ブランド交流委員会	ウ 一般事業	10年前から開催しているかかしまつりは大きなイベントに成長した一方で、実施主体の会員構成もほとんどが高齢者となっており、継続が困難な状況であり、世代・性別を問わず活躍できる環境整備が求められる。また、農地の遊休化、荒廃化が拡大していることから、そばを栽培し、そばを活用した地域の活性化を図る。	○石羽古碑街道かかしまつりの開催 ○そばを活用した地域活性化
山形県	新庄市	“みんなで創る”地域ブランディング事業	“みんなで創る”地域ブランディング事業	ウ 一般事業	地域住民・関係団体との協働により、地域の風土・歴史文化資源の魅力を引き出し、活用することで、魅力的で持続的なまちづくりにつなげ、歴史文化観光を通じた人的交流や地域の経済循環を図る。 また、地域の風土・歴史文化資源を掘り起こしていくまちづくりの中で、市民一人ひとりが「わがまち」を知り、まちへの愛着を育む機会とする。	①地域資源の活用 日本を代表する詩人・作家：宮沢賢治を生誕の師と仰いだ昭和初期の郷土の農村指導者：松田甚次郎の生涯を描いた演劇公演を宮沢賢治の故郷岩手県花巻市で開催する。 ②「食」文化による地域活性化の試み 松田甚次郎が貧しい農村を救済するために実践した自給自足の理念に習い、地域物産を活かしたお土産商品の開発と販路の開拓に取り組む。
新潟県	長岡市	楢山峠山頂ツリーハウスづくりワークショップ事業	ど田舎〇(まる)ごとがらんぱり隊	ウ 一般事業	団体は、魅力ある集落づくりのために楢山峠の周遊コースの整備を行い、交流人口の増加による地域活性化に向けて取組を行ってきた。さらに来訪者を増やすため、楢山峠山頂にある立ち木の上にツリーハウスを制作する。制作に向けてのワークショップでは、地域外の親子などにも参加を呼びかけ、地域への理解と愛着を深めてもらう。	○楢山山頂へのツリーハウスの制作に向けたワークショップの実施 ・親子をターゲット ・毎週日曜日実施、計16回(予定) ・完成後はイベント開催時のステージや休憩施設、パンガローとして活用
新潟県	上越市	新水族博物館を核とした地域活性化事業	新水族博物館を核とした地域活性化検討会	ウ 一般事業	平成30年6月に開館する新水族博物館を核とした地域活性化に向け、施設周辺の住民、まちづくり団体、商店街などの関係団体が連携し、「街なか特典プラン事業」や「新水族博物館オープン記念事業」などを実施する。 さらに、新水族博物館を支える「直江津のまち・うみがたりサポータークラブ」立ち上げの検討を行う。	①水族博物館とまちの情報発信事業 ②商品開発と物販の仕組みづくり事業 ③ようこそ直江津おもてなしプロジェクト ④街なかの特典プランづくり事業 ⑤水族博物館や商店街まちめぐり情報発信プロジェクト ⑥まちなか水族館事業 ⑦上越教育大学学生とまちの連携強化事業
富山県	立山町	立山黒部アルペンルートの外国人観光客のハートをゲット！町民と海外女子がともに創る、お土産開発プロジェクト	立山町物産協会	ウ 一般事業	本町を訪れる外国人観光客は年々増加しているが、観光資源は、山岳地帯に集中しており、平坦地は素通りされてきた。しかし、平坦地にも立山のイメージを生かした多様な観光資源が存在する。ただ、それらの魅力を伝えるお土産などの商品がないため、地域の魅力が十分に観光客に紹介できていなかった。 そこで、町内の土産品を取り扱う事業者で組織する立山町特産品協会が、若者を含めた商品開発意欲のある事業者、国際交流員、地域おこし協力隊などと協力し、旅行消費が旺盛な外国人観光客をターゲットに、外国人等が好む土産品を開発し、それを事業者が販売することで、地域経済の活性化を目指すとともに、平坦地への誘客、交流人口が増加することによって地域全体に賑わいの好循環を生み出すことを目的とする。	○町民への試食アンケート等による多様な町民参画 ○アルペンルート外国人観光客対象のマーケティング調査 ○土産品ブランドデザイン策定に係るワークショップ開催(以下の項目の検討) ・国内外等の土産品に対する嗜好の違い(国別、富裕層等) ・製造法、売り方、売り場、パッケージ、PR方法 ・小規模事業者の身の丈に合った小ロット製造販売戦略 ・多様な販売法検討(価値創造、コト消費導入法、理念に共感購入(社会貢献、売上の一部は雷鳥保護や立山の環境保全に寄付等) ○新商品開発に係る試作品生産・販売 ○町内土産品の贈答用詰め合わせセットの検討 ○全国百貨店バイヤー商談会等への参加
石川県	加賀市	“無理しない地域づくり塾「かがやき塾」から巣立つ、地域の担い手フォローアップ事業	かがやき舎	ウ 一般事業	地域づくり塾の開催に加え、塾から巣立ったその後もフォローアップを当てる卒業生たちが実際に地域に溶け込み、地域の担い手として生き生きと活躍するフォローアップを行うことで、地域活動の活性化を現実的に進めることを目的とする。	○無理しない地域づくり塾「かがやき塾」の開催 ○かがやき塾卒業生のフォローアップ
福井県	勝山市	「のむき風の郷」を核とした野向町活性化事業	NPO法人まちづくりのむきの会	ウ 一般事業	これまで野向町民が進めてきた町の活性化事業を一体的に実施し、拠点施設「のむき風の郷」を運営することを目的として、平成29年4月5日に設立した「NPO法人まちづくりのむきの会」を中心として、伝統野菜等の栽培・販売、さらに新たな商品(特産品)の開発等を行い、地域循環型経済の進展を図るとともに、年間を通してイベントの開催や生涯学習の場の提供を行う中で、拠点施設「のむき風の郷」を、公民館機能をあわせ持った総合一体型の施設に発展させ、地域の住民一人一人のやりがいや生きがいの場の創出により一層の地域活性化を推進する。	○年間を通してイベント「のむき四季彩まつり」の実施 ○のむき風の郷の運営 ○のむき風の郷PR用パンフレット作成・配布 ○施設の備品整備(業務用オープン・エアコン) ※エアコン設置事業は、自己資金により実施します。
岐阜県	揖斐川町	子ども歌舞伎 地方後継者育成事業	いび祭り子ども歌舞伎塾	ウ 一般事業	少子高齢化により「いび祭り」で奉納される子ども歌舞伎の役者の確保、後継者の育成が課題となっている。地方(太夫、三味線)を地元で育成することにより町の貴重な伝統芸能である子ども歌舞伎を保存・継承し、地域の活性化を図る。	○子ども歌舞伎に必要な地方(太夫、三味線)を育成する講座の開催 ○歌舞伎メイク教室の開催
三重県	名張市	名張流まちづくりを担う人材育成講座	名張市	ウ 一般事業	各種講座・研修、円卓会議等を実施することにより、まちづくり活動へ参画する人材の育成・発掘や地域と行政や関係機関が連携・協働して取り組むことを目的とする。	○地域づくり組織訪問による取り組み等の調査 ○地域間、市民活動団体等との連携をめざした連続講座の実施 ○円卓会議の実施 ○まちづくり研修の実施 ○まちづくりに取り組む新人発掘研修 ○職員研修
三重県	伊賀市	あわ(阿波)てんぼう(展望)ANYランニング事業	NPO法人あわてんぼう	ウ 一般事業	中山間地域の中で、「食」活動を通して田舎暮らしに生きがいを見いだせる地域づくりに向けに取り組んでいる配食事業とレストランバイキング事業の事業拡大を図ることを目的とする。	○弁当事業拡大のため、配膳室を新たに設置する ○乗客拡大のためのレストランバイキングの実施

平成30年度地方創生に向けてがんばる地域応援事業 採択一覧(申請書より)

都道府県	市(区)町村名	事業名	実施主体名	事業の種類	事業の趣旨又は目的	事業概要
滋賀県	湖南市	地域資源を活用した域内循環創出プロジェクト	湖南市	ウ 一般事業	湖南市にある森林はそのほとんどが民有林であり、それぞれの地域ごとに、森林を保全・活用するための生産森林組合が存在している。 しかし、近年、組合員の高齢化や減少により、担い手が不足するとともに、木材価格の低迷などにより、森林の保全活動が停滞しており、山への関心が薄れている状況である。 一方、木質バイオマスに対する関心の高まりとともに、市内には山主ではないが、薪割活動を行っているグループや木質ペレットの製造等を行っている企業もある。また、近隣の甲賀市では、福祉作業所との連携による薪製造の取り組みなども進められている。 今回、がんばる地域応援事業を活用し、組合員と新たな担い手のつながりづくりのためのワークショップや地域住民の山への愛着、地域資源への関心を取り戻すためのイベントの開催、また森林整備やバイオマス燃料づくりにおいて障がいを抱える人々との連携検討を行うことにより、地域資源を活用した持続可能な地域づくりを目指す。	(1)事業内容(継続的推進のための仕組み等、事業内容を具体的に記載) ○生産森林組合と自伐林業グループとのワークショップ(3回程度実施) ・自伐林業グループとの連携による森林整備の検討 ・若い世代に関心を持ってもらうためのイベント等の検討(キノコ等の栽培やツリーリングイベント等) ○木と触れ合うツリーリングイベントや親子エコものづくり体験講座の開催 ○間伐材を活用した燃料づくりの実証(福祉作業所との連携) ○産業界交流フェアでの周知啓発事業 (2)事業後の展望 地域の森林資源を活用した体験講座やイベントを継続的に実施することで、地域住民の森林への関心・愛着を育むとともに、新たな担い手との連携により、地域ぐるみでの森林の整備や保全を進める。 また、福祉作業所等との連携により、木質バイオマス燃料製造に取り組む。 これらにより、地域にある資源を活用した取組を進め、エネルギー、食料の地産地消の仕組みを構築し、小さな域内経済循環を生み出すことを目指す。
滋賀県	高島市	集落機能維持強化に向けたワークショップ事業	高島市	ウ 一般事業	全国的に少子高齢化が進む中、高島市内でも集落機能が低下し、集落の運営や維持が困難な地域も見受けられるようになってきた。このような中、地域の現状を知り課題を見つけ、将来の地域運営の基礎資料を収集するため、地域住民参加型のワークショップを開催し、これからの地域を目指す姿を検討し、単位集落の機能維持・強化を図ります。	平成29年度実施した地方創生伴走型応援事業の成果を基に、対象地域がこれからの地域を目指す姿を見つけ、持続可能な地域・単位集落のあり方の検討を平成30年度も継続的にワークショップ形式で進めていきます。平成30年度当該事業対象地域(概ね小学校区単位)に対し、地域の課題を知り地域課題を見つけるため、集落のリーダーを中心とした委員会を組織し、ワークショップの手法を用いながら、地域住民対象の「これからの地域を考えるアンケート」を作成します。 ②の成果から、地域住民アンケートを実施します。
京都府	京丹後市	「旬の京丹後」食体験の発信事業	久美浜まるごと実践講義	ウ 一般事業	食生活立市の実現を目指す「旬の京丹後」事業の一環として、地域の食材や食文化を、京都市内等に潜在する国内外からの観光客に対して提供するなど、市が目指す「体験・滞在型観光地」実現の足掛かりとする。また事業実施には各地域住民の協力が欠かせないため、事業を通じて各地域の事業活性化や所得向上を図り、ひいては地域経営力、地域自治力向上への契機になることを目指すもの。	○「旬の京丹後」食体験発信プロジェクト(仮称)の立ち上げ ○「旬の京丹後」食体験コンテンツの開発 ○地域ビジネスプランの作成
京都府	木津川市	通い版地域おこし協力隊	特定非営利活動法人プロデュース・テクノロジー開発センター	ウ 一般事業	木津川市が、平成28年3月に策定した地域の活性化計画である「当尾地域力創造プラン」に基づき、地域としてのありたい姿をコーディネートしつつ、学生を活用した「通い版地域おこし協力隊」を創設することで、様々な地域住民、活動団体等をつないでネットワーク化することにより、地域の活性化を図ることを目的とするもの。	○住民、関係団体とのワークショップ(WS)の実施 ○隊員によるフィールドワークの実施 ○地域の農産品を活用した新商品の開発等 ○マップやSNSを活用した地域やハイキングコースのPR ○「当尾の郷土館CREATION PROJECT」等との連携によるイベント等の企画・実施
兵庫県	川西市	川西市コミュニティチャレンジ事業	川西市	ウ 一般事業	地域のつながりの希薄化や担い手不足などの課題を解決するため、「地域分権制度」を導入したコミュニティ組織に対して地域づくり一括交付金を交付して、市民や事業者、各種団体など、まちづくりの様々な主体が連携・協働して、持続的な川西を創造していく。	○空き店舗を活用した、地域交流拠点まちづくりプラザやらりんの運営 ○「貸館業務」「日曜カフェ」等を行い、地域住民の交流の場を提供 ○SNS活用による地域情報発信講座の実施 ○ICTを活用して地域内で幅広い年齢層の人材育成を行う「アフタースクール」の実施
兵庫県	丹波市	丹波新次元「2つの経済」Project	丹波市	ウ 一般事業	高齢者コミュニティビジネスによる「小さな経済」の構築と、コミュニティビジネスを起点とした交流産業型経済へ発展させる。新たな雇用を創出し、地域活性化を後押しする新しい地域産業構造化をめざし、高齢者が「地域の担い手」として活躍できる社会参加を促す。	○住宅宿泊プロジェクト(家主居住型民泊の推進) ○商品化プロジェクト ○ニューメディアプロジェクト
兵庫県	朝来市	朝来市人材交流発掘育成事業	一般社団法人朝来まちづくり機構	ウ 一般事業	人口減少下にある朝来市の地域力を支える人材の発掘とその育成を目的に事業実施する。	○まちづくりへの関心を高めるため、市民活動やコミュニティビジネスを自実践している人と若者世代との交流の場づくり ○アクションプランの作成支援として学びの場を提供
兵庫県	市川町	さつまいもを活用した鶴居地域活性化事業	鶴居地域活性化協議会	ウ 一般事業	戦前から鶴居地域において特産として栽培されていたさつまいもの栽培を復活させ、産地化を目指し、また、いも掘り体験や様々なイベントを行い、六次産業も目指し、JR鶴居駅周辺の店舗や農協鶴居支店が閉鎖されるなど、閑散とした鶴居駅周辺の活性化につなげる。	○黒ぼく土の土壌を活かしたさつまいもの品種の見極めや栽培方法の確立 ○栽培したさつまいもを用いたイベントを企画し、都市部との交流を図る ○鶴居駅周辺の空き店舗を活用し、駅前周辺の活性化と六次産業による新しい特産品開発
奈良県	吉野町	森林セラピーを生かしたコンテンツの開発	山口自治会	ウ 一般事業	吉野森林セラピーの認知度を高め、森林セラピーを集客できる地域の特色とし、地域活性化につながる道筋を作り出す。	○地域及び森林セラピー認知度調査 ○森林セラピーの医学的効果の検証 ○森林セラピー集客につながるコンテンツの開発
鳥取県	米子市	地元高校生と連携した「米子の魅力を伝える動画」作成及び発信・活用事業	米子市	ウ 一般事業	行政と地域住民が連携・協働し米子市の魅力を市内や全国に発信していく取組のキックオフとして、地元の高校生と連携し、「米子市の魅力を伝える動画」を作成することによって、住民の市に対する愛着心醸成や、全国的な米子市の認知度や知名度を向上につなげる。	地元高校生と市職員が連携して、「米子市の魅力を伝える動画」を作成する。 ○市民に向けた情報発信 →上映会を開催、地元メディアの活用、小冊子の作成・配布 ○市外に向けた情報発信 →ソーシャルメディアの活用、先進自治体との情報交換会等への参加
島根県	雲南市	世代を超えてつなげる殿河内〜心癒される地域づくり〜	殿河内夢を語る会	ウ 一般事業	今後、ますます人口減少や高齢化が進む中で、殿河内地区が集落機能を維持しつつ、誰もが住み慣れた地域において安心・安全に暮らすするために、殿河内夢を語る会を中心として地域住民が一体となり、互助を率先推進する取組を継続するための体制整備を行う。	【事業内容】 ○機械(バックホウ)操作講習会の開催 ○バックホウを活用した環境保全・防災等の多面的な集落維持活動の実施 ○地域内外に対する各種取り組みの情報発信 ○高齢者の生きがい・健康づくりとしての環境美化活動等の実施による支え合いの体制づくり 【事業後の展望】 本事業の実施を通じて、様々な世代が地域の将来を考えるきっかけとし、防災・福祉など多面的な互助・共助につながるものとする。 事業後は、バックホウを扱うことのできる地域住民が増えることで、森林整備、耕作放棄地の防止活動、除雪等が地区全域において実施される。

平成30年度地方創生に向けてがんばる地域応援事業 採択一覧(申請書より)

都道府県	市(区)町村名	事業名	実施主体名	事業の種類	事業の趣旨又は目的	事業概要
岡山県	矢掛町	みかわてらす 応援事業	矢掛町	ウ 一般事業	山村振興のため地域のために地域の人が立ち上げた団体「みかわてらす」、古民家を改修した拠点を活用し、地域住民・都市部との交流の拠点と、新たな商品開発やカフェ、販売拠点となり、地域資源を活かした事業を展開し持続し、地域×デザインにより魅力を発信し自立することを目的として実施する。	(1)事業内容 ・古民家を改修した拠点の運営 ・ツールデザイン(POP、商品袋、レジ回り品等デザイン) ・ツール制作(POP、商品袋、レジ回り品等) ・藍染め体験を実施する。 (2)事業後の展望 ・山村地域での持続可能なコミュニティビジネスとなる。 ・山村地域の雇用の創出、地域住民の所得向上。 ・山村地域の持続可能なコミュニティ形成。 ・地域内の世代間交流の推進。
岡山県	笠岡市	若者会議バージョンアップ事業		ウ 一般事業	笠岡市では、若者・女性が住みやすいまちづくりを進めて、地元定着を促進するとともに、地域の未来を担う人材を育成するため、笠岡市にかかわる高校生から40歳までの若者が「ぼっけーまち会議 文化祭」を初開催するなど、若者が精力的に企画実行し、笠岡市を盛り上げていく。 本事業により、事業への参加メンバーのスキルアップを図ることを目的に、各分野の専門講師を招いての勉強会や他団体との交流などを実施する。また、将来的に行政主体からメンバー主体の運営に移行するための体力づくりを進めていくことを目的に、活動の基盤となる拠点整備を実施する。	(1)事業内容 ・若者会議では、「婚姻率が上昇する方策」「希望する子どもの数を持つ方策」「転出抑制・転入促進のための方策」の3つをテーマに、月1回の全体会議と、各種プロジェクトを実施している。それぞれの活動については順調に進行しているが、事務局は市が担当し、打合せ等は公共施設利用。財源は市からの支出など。行政からのサポート部分が大いため、将来的に行政の関与を少なくして、メンバーによる自主運営を目指し、「メンバーのスキルアップと若者会議全体の基盤整備」に取り組む。 (2)事業後の展望 今回の若者会議バージョンアップ事業により、メンバーのスキルアップを図り、若者会議全体の基盤を強化することで、活動を活性化するとともに、将来的にNPO法人化やプロジェクトの独立など自主運営を進めていくための体力作りを行い、活動を継続的に発展させ、若い世代の転入促進、転出抑制に繋げ人口増加を目指す。
山口県	萩市	たまがわプロジェクト	NPO法人田万川地域サポート21	ウ 一般事業	人口減少・高齢化が進む地域内において、比較的利便性の高い道の駅の一角を利用して、送迎付の高齢者サロン、通院介助や生活支援の窓口を設置して支援活動を展開し、孤立しがちな高齢者の心身の健康と安心・安全な生活の確保に貢献することを目的とする。	○カフェ兼交流の場として、サロンを設置 ○選択、買物、掃除等の生活支援の窓口を設置 ○予約制による通院送迎 ○児童クラブでの交流等、世代間交流の取組を実施
徳島県	牟岐町	学生の力を活かした地域人材育成循環事業	特定非営利活動法人ひとつむぎ	ウ 一般事業	大学・高校のない過疎自治体において、大学生がロールモデルとして継続的に人材育成事業に関わることで、当該地域の若者の成長を促し、育った人材が次の人材育成に関わる循環システムを構築する。	中学生から大学生、さらには社会人までが継続的にキャリア教育プログラムに参加することで牟岐町に関わり続ける人材を創出し、町内活動人口を増加させる。このことにより、高校大学がないことにより実質15歳で流出していた人口ど鈍化させ、若年人口を引き寄せることで、衰退傾向に歯止めをかける。
徳島県	美波町	観光ボランティアガイド充実事業	観光ボランティアガイド会日和佐	ウ 一般事業	近年増加傾向にある外国人旅行者への対応のため、英会話教室を開催する。 また、修繕等が必要な備品などを購入し、観光ボランティアガイドの充実を目指す。	①外国人旅行者ガイド対応スキル向上のための英会話教室 ②新人ガイドの募集及び研修③ガイド技術向上のための研修④施設修繕等⑤ユニフォーム更改⑥事務運営必要備品整備⑦ガイドに必要な書籍・消耗品の購入
福岡県	大牟田市	地域協働型学生魅力化事業「Omuta ichaak(アイチャーク)プロジェクト」	大牟田市	ウ 一般事業	「学生が中心となって、ヒトを、地域を、未来を、つなげる」をスローガンに、地域や地元企業と協働する場を提供し、自分が出発することを考えるきっかけづくりを行う。具体的には、全国的に注目を浴びており本市の施策である市内全小中学校のユネスコスクールへの加盟及びESD(持続的可能な開発のための教育)といった取組を、高校生も継続的に行なっていくために、高校生に焦点を当てた「地域協働型プログラム」事業を創始する。	主体:学生×地域×地域おこし協力隊 ①学生魅力化サイト運営 学校間共同の情報発信サイトを構築し、地域協働型プログラム事業や学校情報(各学生の取組、部活動など)を気軽に発信できる場を作る。 ②地域協働型プログラムの導入 学生に地域の人々や企業と交流する場(製造/小売/農業/ものづくり等)を創出し、地域や地元企業を知る機会を提供する。 ③講演会企画・運営 主に、「考える力」をテーマに講演会を企画する。学生は将来自分が何をやりたいのかを真剣に考える時期にいる。その大切な時期だからこそ、自分のこれまでの経験、そして未来の可能性を形にするための手助けを行う。
福岡県	那珂川町	博多南駅前から市民が発信! まちづくり実践チャレンジプロジェクト	JR博多南駅前を考える会	ウ 一般事業	まちづくりの拠点を、子ども・女性・若者・シニア等の住民発信で活用することでまちづくり人材を育成するとともに、那珂川町が抱える課題解決へつなげ、まちへの愛着や誇り、那珂川町で働きたい、住みたいという思いを醸成する。	①プロジェクトチームの立ち上げ ②勉強会・ワークショップの開催 ③事業実施 ④クリスマスイルミネーション装飾事業等の磨き上げ及び実施
福岡県	小竹町	ぐらんまギフト事業～多世代共創のにぎわい、いきがよい、なりわいを生む場所づくり～	小竹町	ウ 一般事業	女性を中心とするシニア世代が、地域の伝統や生活の知恵、所謂「おばあちゃんの知恵袋」を、子どもや孫世代に贈り物として繋いでいく事を基本コンセプトとし、今までに関わる事になかったシニア世代と若い世代の新たなコミュニティを生む場所として、空き家を改修し拠点づくりを行う。そこで生まれた新たなコミュニティを組織化し、賑わい、生きがい、生業創出を目的に事業展開を図り、町の活性化に繋げることを目的とする。	①活動拠点整備 ②運営組織の立ち上げ ③ワークショップ、視察及び研修の実施 ④「ぐらんまギフト」商品企画及びロゴマーク制作 ⑤イベント開催
熊本県	天草市	天草町創生事業	チーム天草	ウ 一般事業	天草町は高齢化、人口減少により30年後には地域消滅が予測される。それを防ぐため、チーム天草が発足し、若者が安心して子育てができる地域を築くための取組みを行い、将来的にも若者の定着率を向上させ、持続可能な地域づくりを目指す。	○天草町の資源を生かせる一次産業の絞り込み ○付加価値商品の作りあげと顧客の集中化による販路拡大(個人宅配、業務用顧客拡大) ○独自の流通の構築(海外進出)
鹿児島県	霧島市	「中学生の挑戦!『霧島しごと維新』」事業	霧島市	ウ 一般事業	中学生や中学校等の教職員及び保護者が地元企業との相互交流を実施し、地元で働くことの意義や仕事内容の理解を深め、学生を地元企業と「繋ぐ」ことで、就職や進学に伴う若者の人口流出を防ぐ。	○「霧島しごと維新」連絡協議会の設置 ○中・高キャリア教育担当者連絡会の実施 ○国際化教室の実施 ○地元企業見学会の実施 ○キャリア支援講話の実施 ○しごと維新(職場体験)受入事業所への公認証等の発行

平成30年度地方創生に向けてがんばる地域応援事業 採択一覧(申請書より)

都道府県	市(区)町村名	事業名	実施主体名	事業の種類	事業の趣旨又は目的	事業概要
沖縄県	石垣市	産官学民連携観光人材育成事業	石垣市	ウ 一般事業	石垣市においては、離島という地理的要因等により大学及び専門学校等の教育機関がないことから、高校卒業とともに島外及び都市圏への若者の流出がほとんどの状況にある。そういった状況の中、生まれ育った地域への愛着や理解を深める為に、地方創生について石垣市と四者間協定を結んでいる産業能率大学、株式会社ユージュレナ及び自由が丘商店街振興組合らと連携し、大学教授や民間講師らによるマーケティングやPR手法といった専門性の高いワークショップを石垣市内の高校生らに実施し、最終的にはそれらを踏まえて学生ならではのローカル目線での観光プランの作成を目的として人材育成事業を実施する。	①旅行や観光における専門分野のワークショップの実施 ②離島の高校生らと都市圏の大学生らでの協働の体験型観光プラン作成 ③学生同士の意見交換や地域間交流の場作り ④東京都内でのプロモーション活動 ⑤上記の活動を踏まえて、学生ならではのローカル目線での観光プランの作成を目的として人材育成事業を実施する。